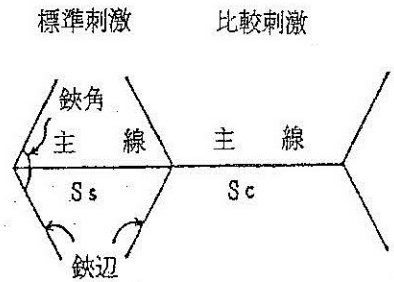


第3問 以下の問題に答えなさい。

物理的には同一の刺激を受容しても、その結果として生じる知覚体験が異なる場合がある。それについて、幾何学的錯視を例にして説明しなさい。

また、精神物理学の測定法のひとつである調整法を用い、ミュラー・リヤーの錯視において鈍角の大きさが錯視量に及ぼす効果を明らかにすることを目的とする実験計画を立案しなさい。その際、鈍辺の長さは30mmに固定し、鈍角の大きさは 30° 、 45° 、 60° 、 120° の4条件とする。



第4問 心理学に関連する、以下の1～20の語ともっとも関連が深い用語を、下記の語群(a～z)から1つずつ選び、該当する記号を解答欄に記入しなさい。なお、語群の「」は著書名である。

- | | | | |
|-------------------|---------------------|-------------------|--------------------|
| 1. Selye, H. | 2. Beck, A. T. | 3. Caplan, G. | 4. Wolpe, J. |
| 5. Erikson, E. H. | 6. Rosenzweig, S. | 7. Eysenck, H. J. | 8. Clark, D. M. |
| 9. Bandura, A. | 10. アナログ研究 | 11. 再犯予測 | 12. Skinner, B. F. |
| 13. 吉本伊信 | 14. Freud, S. | 15. 心理生理学的検査 | 16. 多軸診断 |
| 17. クライアント中心療法 | 18. コミュニケーション論的家族療法 | | |
| 19. 前頭前野 | 20. メタ分析 | | |

語群

- | | | | |
|--------------|---------------------|---------------|---------------|
| a. ゲシュタルト療法 | b. 無条件の肯定的配慮 | c. 「ひき裂かれた自己」 | d. 壺イメージ療法 |
| e. MPI | f. オペラント条件づけ | g. 逆説的介入 | h. 抵抗 |
| i. 社会的支援 | j. 下垂体-副腎皮質系 | k. 精神腫瘍学 | l. リスク・アセスメント |
| m. 系統的脱感作法 | n. トークン・エコノミー法 | o. 効果量 | p. 内観療法 |
| q. 精神交互作用 | r. 皮膚電気活動 | s. 非臨床サンプル | t. スキーマ |
| u. DSM-IV-TR | v. 自己効力感 | w. 「幼児期と社会」 | x. P-F スタディ |
| y. 安全希求行動 | z. ウィスコンシン・カード分類テスト | | |

第5問 以下の問題に答えなさい。

問1. 心理面接場面における転移 (transference) および逆転移 (counter-transference) について、それぞれの用語の意味を、両者を関連づける形で説明しなさい。

問2. 面接者 (therapist/counselor) がクライアント (client) に対して性的な魅力を感じた場合、どうすればよいかについて、転移・逆転移の観点から述べなさい。

第1問 次の英文を読み、以下の問題(次ページ)に答えなさい。

① Mindfulness is a relatively recent construct in Western psychology with an over 2500-year history in Eastern traditions.

(中略)

prefrontal cortical structure involvement as well.

出典: Smalley, S.L. et al. (2009) Journal of Clinical Psychology より抜粋

問1. 下線部①を和訳しなさい。

問2. 下線部②の conflict attention とは何か。Mindfulness と ADHD は conflict attention によってどのように関わっているのか述べなさい。

第1問 Piaget, J. の三つの山問題とは何か。また、三つの山問題から明らかになった他視点取得はどのような発達過程をたどると考えられるかを説明しなさい。